

通信・放送確保訓練の振り返り勉強会を富山で開催

総務省北陸総合通信局（局長：濱島 秀夫）は、平成30年2月19日（月）、平成29年度富山県総合防災訓練にて当局と連携して通信・放送確保訓練を実施した地方公共団体及び放送事業者のご出席を得て「通信・放送確保訓練に関する勉強会」を富山県民会館で開催しました。勉強会では、訓練を振り返り、災害対応の手順や連携体制を再確認するとともに、地域防災力のさらなる強化に向けた今後の課題を議論しました。

開会にあたり、北陸総合通信局の瀬高隆裕防災対策推進室長が「今回の勉強会を通じて、富山県、富山市、立山町、NHK富山放送局、富山シティエフエム、エフエムとなみ、北陸総合通信局の連携をさらに強化し、地域の安心・安全に貢献したい」と述べました。

勉強会では、NHK富山放送局から、臨時地デジ中継局開設訓練の成果を発表していただきました。続いて、富山シティエフエムから、実際に訓練当日に放送したラジオ番組を再生しながら臨時災害放送局開設訓練の成果を発表していただきました。その後、災害時に住民向けの放送を確保する重要性や課題、その開設手順や役割分担について意見を交わしました。

出席者からは、「今回の訓練では実際に電波を発射したことで、受信機による受信確認が可能であったことから、より現実に近い電波確保の一連の作業を経験できた」、「立山町の舟橋町長に番組に出演していただき、コミュニティ放送に興味を持って、その大切さを感じていただいたことは良かった」、「災害時には市民の方が何を知りたいのか、訓練を通じて情報収集しておくことが可能なので、次回の訓練では実践したい」、「災害の規模や状況にもよるが、日頃から事前に横の繋がりを作っておかないといざという時に放送できず、また的確な情報を伝えることができないことを訓練を通じて改めて感じた」、「Lアラートの自動割込放送は、富山シティエフエムにしが入っていないが、エフエムとなみにも導入されるとよい」などの意見が寄せられました。



挨拶する北陸総合通信局の瀬高防災対策推進室長



勉強会の様子

勉強会出席者の皆様

富山県



福山危機管理調整主幹、堀内主事

富山市



前田課長、林主査

立山町



山元課長、藤田主事

NHK富山放送局



川口副部長

富山シティエフエム



小原課長、水上チーフパーソナリティ、濱谷パーソナリティ

エフエムとなみ



古井部長、田島氏

北陸総合通信局



綿谷課長、森田課長、蟹受信障害対策官、上川上席電波検査官

今後も当局では、災害時における住民への迅速かつ正確な情報伝達手段の確保に資するため、実践的な防災訓練の実施の他、このような勉強会の開催など自治体や放送事業者との定期的な情報交換に取り組んでまいります。

お問合せ先

防災対策推進室、放送課 076-233-4479